平成１９年２月５日

各　　位

会社名　ムラキ株式会社
代表者名　取締役社長　坂田　季雄
（ＪＡＳＤＡＱ．コード７４７７）
問合せ先　常務取締役　児浦義文
電話番号　03－3304-2911

平成１９年３月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年３月期（平成１８年４月１日～平成１９年３月３１日）業績予想について、平成18年11月27日付け当社「平成19年３月期中間決算短信（連結）」及び同日付当社「平成19年３月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1．業績予想の修正

連結通期（平成18年４月１日～平成19年３月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	14,100	△10	△120
今回修正（B）	13,100	△480	△560
増減額（B）－（A）	△1,000	△470	△440
増減率	△7.0%	－	－
（参考） 前期実績 （17年４月１日～18年３月31日）	14,450	△30	△426

2.修正理由（連結）

第３四半期の業績の概況については、本日発表の「平成19年３月期第３四半期財務・業績（連結）」をご参照下さい。

下期においては、上期の大幅赤字をカバーすべく、洗車事業を初めとした新たな事業展開を推進することにより増収を図る一方、物流改革による物流関連費用の削減、営業体制の効率販売への移行、全社的な経費削減により、大幅な収益回復を目指し業績予想に記載した計画を策定し実施に移しております。

しかしながら、販管費削減については、概ね計画どおり進捗の見通しですが売上については、次の要因により計画を大幅に下回る見込であり、収益改善基調までには、至っていない状況です。

既存のＳＳ向けカーケア関連商品の販売については、前記［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］に記載した要因に加え、１～３月期は、需要減退期に当たると共に、暖冬の影響による冬物商材が極めて不振で売上回復までには至っていない状況です。

新たな事業展開については、事業計画に沿った展開を着実に進めておりますが、短期間での成果を見込んだため洗車事業については、時期的に若干ずれ込んでおり、また、大口ユーザー向け直売についても、売上の増加は翌期以降となる見通しであり、売上高は計画比10億円減（９２％）にとどまる見込です。

その結果、今期の業績は前記のとおりと予想され、業績予想を修正することといたします。

2.単独業績予想の修正

個別通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	13,615	△10	△120
今回修正（B）	12,560	△480	△530
増減額（B）－（A）	△1,055	△470	△410
増減率	△7.7%	－	－
（参考） 前期実績 （17年4月1日～18年3月31日）	13,949	△33	△427

3.修正理由（個別）

連結業績予想の修正と同様の理由によるものであります。

（参考）

期末配当金

平成18年5月24日付け「平成18年3月期個別財務諸表の概要」で平成19年3月期の期末配当を見送らせていただく旨をお知らせしております。

以　上